

MESSAGE

平成12年明治大学校友会国立支部定期総会開催



設立2年目を迎えた明治大学校友会国立支部定期総会は、6月18日(日)午後2時より国立市商工会館において、来賓として学校側より大学院長鈴木商学部教授、本部事務局より樋口副幹事長、立川支部より小林副支部長の各氏ご臨席のもと開催された。本支部会員26名が出席し、議案の審議は全員賛成で可決、2年目の充実が期待される総会であった。



支部旗授与

「手づくりの活動・家族ぐるみの行事で親睦の輪を」



国立支部長
岩崎 岩夫

今日は国立支部第2回総会にご出席いただき有難うございます。また鈴木大学院長、本部樋口副幹事長、立川支部小林副支部長にご来賓として出席賜り、厚く御礼申し上げます。総会に先立ち、大学より校友会本部を通じ国立支部に対し、光栄ある紫紺の支部旗を頂き、大変感謝し一層親しみのある同窓の触れ合いの場となりますよう努めて参ります。

本支部は、会員皆様のご努力と深いご理解ご支援により、昨年6月新生支部として誕生しました。そして早速、校友会活動に入り、大学創立120周年記念事業募金に支部としての協力をし、50万2千円を集めることが出来ました。また昨年10月の全国校友東京大会は、40名の参加協力を得ることが出来ました。会員各位の絶大なご協力に深く感謝いたします。

総勢約60名の新生支部としては、応分の協力が出来たと喜んでおります。しかし大学としては募金が目標金額に達しておらず、今一步の協力要請がございます。なお今年の全国校友愛媛大会は、9月24日松山市で行われます。支部に対し参加のお誘いがございますので、申込み参加いただければ有難いと思います。

一方、当支部内に於ける活動は、評判のよい手作りで家族ぐるみの行事を基に、本年も活発に行います。皆さんお誘い合わせの上、積極的にご参加いただきたいと思ひます。

本年も会員相互の親睦と交流の輪を拡げてゆくのは勿論ですが、母校明治大学への賛助と地域社会への貢献のため、会員各位の一層のご支援ご協力をお願い致します。

皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念いたしましてご挨拶といたします。

「笑顔がはじけ、大いに盛り上がった懇親会」

総会終了後の懇親会は、“おお明治”の御酒で青木顧問の乾杯の音頭で始まり、今総会初めての出席者の紹介では、ヨーロッパ各地をキャンパスにしている画家、小田切訓校友(1968年卒)が、自作のカレンダーを添えて自己紹介。またユーモアあふれる清水幹事の司会は、会を大いに盛り上げ、あちらこちらで歓談の輪が広がった。最後に土屋幹事の音頭で一糸乱れぬ校歌斉唱、そして万歳三唱と時間を忘れる懇親会でした。



壇上で挨拶される岩崎支部長。



懐かしい四方山話に思わず盃を重ねて…。



笑顔はあの頃のままです。



2月実施のアンケート結果について

※59名の校友にお願いして
24名より回答いただきました。

● 支部の活動に関する要望事項等

- ①現在の活動を継続してほしい…………… 8名
- ②家族を含め全員参加型の行事の推進…………… 4名
- ③市のボランティア活動への参加…………… 3名
- ④趣味を生かした行事の企画…………… 2名
- ⑤その他……………各1名

小旅行・スポーツ観戦・音楽鑑賞・潮干狩り・運動会・OBの講演会・他の校友会との交流・パソコンや英会話の指導教室

● 支部の会合で披露できる特技・専門知識等

- ①建築全般のコンサルタント
- ②不動産鑑定に関する相談
- ③宅建・行政書士等資格試験の相談
- ④税理士業務

INFORMATION

平成12年度のイベント計画

- 7月：府中でのビール工場と競馬場の見学
- 9月：五日市さかな村での溪流釣、バーベキュー大会
- 11月：1泊での忘年旅行
- 12月：古民家での餅つき大会
- 1月：国立萬盛での新年会
- 3月：福生田村酒造での酒蔵見学会



お待たせしました。何とか「校友会だより」が創刊できました。「隗よりはじめよ」の精神で発行しましたので、いろいろご不満もごさいしょうが、紙面の充実は今後の課題としますのでご理解ください。ところで、今や業務の遂行、情報収集等に欠かすことのできない存在となったインターネット。ネット上で互いの表情をうかがい知ることはなく、ほとんどが文字と文字のやりとりですが、たとえ面識がなくてもいつも会っているような気分を味わってられる、全く不思議な道具です。将来的には「校友会だより」もメール配信になることと思います。『ホームレス』の校友の皆様、アドレスはお早めに。

tsuchiya@fp-t.co.jp